

計数値の管理図 – c 管理図と u 管理図

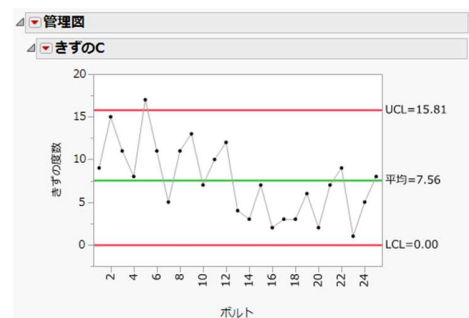
このページでは計数値の管理図の c 管理図や u 管理図の作成方法を説明します。c 管理図は標本内の不適合数をプロットするのに使用され、標本サイズは一定です。u 管理図は単位あたりの不適合数をプロットするのに使用され、標本サイズ(もしくは単位の数)は変動します。

c 管理図

1. JMP®のデータテーブルから、分析 > 品質と工程 > 管理図 > c を選択します。
2. 列の選択から 1 つ以上の連続変数を選択し、工程をクリックします。
3. 一定のサイズを入力(または定数の標本サイズ変数を選択)し、標本ラベルを選択して OK をクリックします。

以下の例では、建材のボルトあたりのきずの数が c 管理図にプロットされます。

例: Fabric.jmp (ヘルプ
> サンプルデータ >
Quality Control)

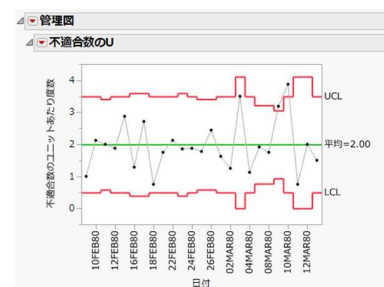


u 管理図(DPU 管理図)

1. JMP のデータテーブルから、分析 > 品質と工程 > 管理図 > u を選択します。
2. 列の選択から 1 つ以上の連続変数を選択し、工程をクリックします。
3. ユニットサイズ(標本サイズ)の変数を選択し、標本ラベルを選択して、OK をクリックします。

以下の例では、検査された単位あたりの不適合数が u 管理図にプロットされます。ヒント: ユニットサイズは定数ではないので、管理限界は変動します。

例: Braces.jmp (ヘルプ > サンプル
データ > Quality Control)



ヒント:

- 工程の変数は時系列順にソートされていなければなりません。
- 特定の原因のテストや工程能力分析等の多くのオプションが赤い三角ボタンから利用可能です。

注意: 工程能力分析や他の種類の管理図の作成に関する情報については、jmp.com/learn の品質と工程の 1 ページガイドをご参照ください。詳細については、品質と工程(ヘルプ > ドキュメンテーション以下)を参照するか、もしくは、JMP のヘルプで「計数値の管理図」と検索してご確認ください。